令和５年度



校長室だより　№６

令和5年10月13日発行

**二 星**

唐桑中学校

１学期終業式　式辞

４月から令和５年度が始まって、昨日でちょうど１００回目の登校日でした。今日で一区切り。１学期が終了します。

この１００日間、３年生は、最上級生として、本当によく成長しました。それぞれの個性が光っていて、素晴らしい集団となりました。

２年生は、新人大会に向けてよく頑張りました。どんどん頼もしくなっていますね。これからの成長も期待しています。

１年生は４月の入学式から、慣れない学校生活でありながらも一生懸命に取り組みましたね。授業中の活気ある態度から、君たちの能力の高さを感じています。これからも、自分にできる精一杯にチャレンジしてくださいね。

さて、これまで私は何度も、**「中学校は大人になるための場所」**という話をしてきました。

今日は、区切りとなる終業式ですので、あらためて**「大人」になるためのヒント**をお話しします。

私たちは社会生活を送っている限り、人と支え合って生きていくしか手立てがありません。

そんな中では、自分のことしか考えられない人、相手の立場を考えられない人は、いつまで経っても、何歳になっても、「大人」とは呼べない。つまり、「子供のまま」なのだと思います。

では、大人かどうかの目安は、どうすれば分かるでしょうか。

私はこのように考えています。

大人に向かって成長できているかどうかは**「相手に何かを頼まれたときに、自分がどのように応えることができたか」**にあると。

「頼まれごとは試されごと」という言葉があります。

実は、人から頼まれることのほとんどは、すぐに解決するものばかりです。

掃除、片付け、家の手伝い･･････。どれも、すぐに行動に移せば、あっという間に解決します。



学校HPはコチラ

学校から出される課題や宿題、提出物も同じ。何日も何か月も時間がかかる「頼まれごと」なんて滅多にありません。

ところが、人には、その『頼まれごと』を後回しにして、「**自分のやりたいことを優先してしまう『子供心』」**がある。

せっかくの大人になる貴重なチャンスを逃してしまう人が、実はすごく多いのです。

私は、「**大人は自分の都合よりも相手の都合を優先できる人間である**」と考えています。逆に言うと、「**自分よりも相手の立場や気持ちを優先することを心がければ、大人に近づく**」ということ。

ここでまた１つのヒントを。

「子供心」が働いているときは、不思議なことに「面倒くさい」という言葉が思いつきません。

君たちも、自分の好きなゲームをしているときや動画を見ているとき、好きなスポーツに打ち込んでいるときや趣味に没頭しているときは、面倒くさいなんて思い浮かばないはずです。

つまり、「あ、面倒くさいな」と感じたときが、自分の成長のチャンス、つまり「**子供から大人に向かうチャンス**」なんです。

「面倒くさい」と感じたら、「大人になるためのチャンスがきた」ということです。

親から頼まれる手伝いや学校から出される課題、部活動の基礎トレーニングもそうです。

**大切なのは、その「面倒くさい」に対して、誠実に、丁寧に、一生懸命に取り組むこと。**

こういう話をしていて思い出すのは、私が顧問をしていた頃の話。部活動で、準備体操や基礎トレーニングを「面倒くさい」と言って手を抜く選手がいたことです。でも、考えてみてください。準備体操や基礎トレーニングすら、まともにできない人に、高度な技術や戦術が身に付くと思いますか？

やはり、「面倒くさい」と感じることの中に、自分の成長があり、そして、未来があるのです。

考えれば、「自分よりも相手を優先すること」は、なかなかハードルが高くて難しいことです。成長過程の君たちにはまだまだ早いかもしれません。

でも、「面倒くさいこと」に挑戦しようと心がけ、誠実に丁寧に一生懸命に取り組もうとする姿勢は、みんなも持つことができると思います。

さぁ、来週から２学期が始まります。

**２学期も面倒くさいことがたくさん待っています。**つまり、君たちが成長できるチャンスがたくさんあるということ。

２学期も楽しみですね。君たちの更なる成長を期待しています。

２学期始業式　式辞

今日から２学期が始まります。

１学期は、３年生が先頭に立ち、生徒会活動や部活動、学校行事に貢献してきました。この１０月は、いよいよリーダーとしての集大成、文化祭と運動会が開催されます。君たちはそのままの君たちで良い。これまでの取り組みは実に素晴らしかった。自信をもって自分たちの精一杯を堂々と表現してください。

２年生は半年後に最上級生、１年生は後輩が入ってきます。これからの半年間、唐桑中学校での生活は、君たちを確実に成長させてくれるはずです。今やるべきことに一生懸命に取り組んでください。

　さて、今日は、令和５年度の後半戦を過ごしていくためのコツをお話しします。

人間は、使い分ける必要があるとき、違う言葉を使いますね。

例えば「上」と「下」という言葉があります。

「はい、では皆さん、上を向いてください。」

ありがとう。皆さん同じ行動を取りましたね。

**私が発した言葉が伝わって、君たちが行動を起こす。言葉の力は本当にすごいと思います。**

ともすれば、私たちは「話し方」に目が行きがちです。しかし、一方の人が「聞くこと」ができなければ、いくら大切な話をしても伝わりません。私たちにとっては「話すこと」だけではなく、**「聞くこと」がかなり大切です。**

日本語では「聞く」と「聴く」を使い分けています。英語でも「Listen」と「Hear」があります。**どちらの言語にも「聞く」が２種類ありますね。**

では、その２種類にはどのような違いがあるのでしょうか。

私の名前は「英二」です。今日は「英一君」を連れてきました。

英一君

私と英一君の大きな違いは「聞く力」にあります。

相手から「意見を書いてください」と

お願いされたとき、私は書くことができますが、英一君は聞くだけで何もできません。

「友達と意見を交換してください」とお願いされたとき、私はその指示を受け、自分の考えを話し、更に相手の考えを聞くことができるけれども、英一君はやはり聞くことしかできない。

**「相手の言葉を受けた際、それを自分の考えに反映し、行動に移すことができるかどうか。」**

私は、それが「聴く」「聞く」の違いだと思います。そのことを意識できるかどうかで、普段の生活が変わってくるのです。

皆さんは普段の生活や授業中、どっち側の人間ですか？

**言葉を聞いて、行動に移せる人ですか？**

**それとも聞き流してしまう人でしょうか？**

２学期は「聞く力」を高めるチャンスがたくさんあります。このあとの代表生徒の所感発表。朝の会や帰りの会、毎日の授業はもちろん、生徒会役員選挙、文化祭の弁論発表･･････。

１年生は初めての行事に向けた準備で、２年生はリーダーとして先生から受けた指示を他の生徒に伝える役割として、３年生は進路希望実現に向けた説明や書類作成の場面で･･････。

ひとつひとつの出来事や時間を大切に、相手の話に集中して聞くことを心がけてください。**話を受けて自分の行動や考えが変われば、それが「聴けた」ということ**です。

**「聴く」と「聞く」**

**この２つの言葉の違いをしっかりと頭に入れて、生活してほしい**、そう期待しています。